

欧米では治療の医学的研究が進み、治療を受ける人が増えている。国内でもステンレス製の使い捨てばりが使用され感染からの安全性が高まり、アトピーなど新しい治療対象への治療も試みられている。30年の経験を持つ岡山市新保、太陽鍼灸整骨院の荒木誠院長に最近のはり治療について聞き、治療を体験した。(阪本文雄)

## 荒木誠院長(岡山)に聞く

はり治療は中国で生まれた東洋医学。人体のエネルギーの気が流れる道が経絡、そのポイントがツボ。そのツボにはりを刺すと生体防御反応が起こり、痛みを和らげる物質が出たり、血流が良くなり症状を改善する。

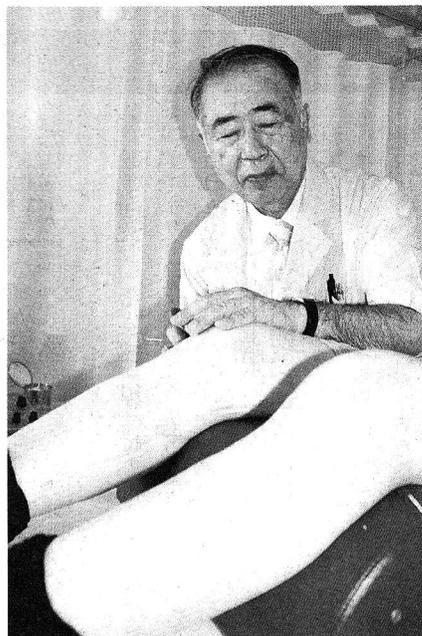
「東洋医学には不思議な力がある。はりでツボを刺激し人体の自然治療力をアップさせ

はり治療は中国で生じた治療対象として鼻のツボはりに適した刺入。膝眼穴などひざのツボは四か所、三十分もかからず痛みもなく、あつという間、ベテランの手技を感じさせる実際の良さだった。

国内でははり治療を行うには国家資格が必要になり、養成する四年制大学、大学院が開学。はり治療や漢方薬を授与する大学病院も増えている。「欧米の西洋医学の研究では治療効果が裏付けられ

心強い」という。右ひざが変形性関節症と診断され痛む一年間一千万人が治療を訴え治療をお願いしている。「はり治療は指でひざを触り、押さえ、痛む部位を確か、米国立衛生研究所はメカニズム解明の研究を進め、骨関節炎、腰痛症、頭痛などに有用とした」という。さ指でとんとんと打ってらに「WHO(世界保

ひざにはり治療をする荒木院長



る」。そのはり治療が欧米で広まっている。米国では統計によると年間一千万人が治療を受けている。「はり治療がなぜ効果があるのか、米国立衛生研究所はメカニズム解明の研究を進め、骨関節炎、腰痛症、頭痛などに有用とした」という。さ指でとんとんと打ってらに「WHO(世界保

# 「はり」欧米で脚光

## 広がる治療対象 アトピーや花粉症も

分を終了。次はおきゅう。米粒ほどのもぐさを線香で燃やす。熱い。「我慢、我慢、これがよう効くんです」

国内では花粉症、コンピューターによる眼精疲労など新しい症状に治療が試みられている。「花粉症の患者に喜ばれている。経験則で効果を確認し治療範囲が広がっている」と話す。

荒木院長ははり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師の免許を持ち、「ヘルペス低周波置鍼療法」「リウマチの灸治療」「急性腰痛の臨床研究」などの論文を発表している。ステンレスはり考案者の杉原正晟日本鍼灸師会副会長、国安厚臣岡山県鍼灸師会会長(いづれも故人)を師と慕う。

◇  
太陽鍼灸整骨院(岡山市新保)086-245-23659、笠岡市四番町0865-2255